

電気科生徒インターンシップ実施報告書

対象校：長崎県立大村工業高等学校

項目	内 容
1. 日 時	平成29年11月7日(火)～11月9日(木) 3日間
2. 実施場所	長崎県支部研修施設及び会議室並びに会員受託事業場
3. 対象メンバー	電気科2年生 4名
4. 体験学習項目	1). 当協会の説明及び法令、技術、安全の研修及び保安全管理業務の説明。 2). 電気設備の通常点検業務の現場実習及び点検記録表の作成。太陽光発電設備の見学 3). 接地抵抗測定・絶縁抵抗測定・保護継電器試験、及び絶縁耐力試験(交流)の実習
5. 担当指導会員	長崎県支部： 浦 俊久、榎原増己、西村和喜、浦史卓、池田雪博、石本重次 以上6名
6. 体験学習概要	1日目の午前中は支部会議室で、榎原会員より体験談を交えながら当協会の概要及び会員の仕事内容の説明、関係法令、安全・技術に関する事項について講習を行いました。 午後からは会員の受託事業場(太陽光発電設備、通常の変電設備)での通常点検業務の見学、電圧・電流測定等の実習、非常用発電機の試験運転等を学習しました。 2日目は、単線結線図と実際の変電設備を見比べながら、点検業務でのポイント等の説明を受け、電圧・電流計等の読み、漏れ電流の実測等を体験実習。その他、各種の変電設備を見学実習し、高圧受電設備の危険性と保守点検業務の重要性を肌で感じたのではないのでしょうか。 3日目は支部会議室で各種測定試験業務について説明し、裏の支部研修施設で実習しました。(接地抵抗・高低圧絶縁抵抗測定、地絡継電器・過電流継電器・絶縁耐力試験(交流)の実習等 この3日間の就業体験で生徒たちからは、充電中の高圧変電設備の日常点検や各種試験業務の実習の他、会員からの体験談などを通し、学校では勉強できない貴重な体験をさせていただきましたと感謝の言葉を頂きました。今回の就業体験が更なる学習意欲の向上と、将来の進路選択に生かされることを願っています。

業務説明



継電器試験実習

インターンシップ感想文
長崎県立大村工業高等学校 電気科 2年()

この3日間で色々なことを学ぶことができました。
1日目の説明では、電気の技術についてもですが、人間としてやるべきこと倫理についても説明がありました。「今後、生き抜く為にどのような社会人をわざわざは「いいのか」ということを教えてもらいました。9項目ありました。自分は「社会に貢献(おれ)をする」が一番印象に残りました。あともう少しで社会人なので、ちゃんと社会に貢献できるように努力していきたいと思えます。実習では、高圧のものを扱わせてもらいました。自分達が実際にされることはあまりありませんでしたが、命がけの仕事に関わっているんだなあと思えて理解しました。第一種電気工事士の筆記で勉強したところがたくさんありました。しかし、実際の器具を見てみると名前と器具が一致しないことが多くて身になっていないなと思いました。なので、今回のインターンシップでしっかり自分のものにしていこうと思いました。この九州電気管理技術者協会は「電験三種」をとらないと話にならないことがわかったので、この資格をとれるように勉強しようと思えました。「電験三種」があれば、もっていない人と差がつく年収をもらえると言われたので嬉しいと思います。今回の体験を将来に生かしていこうと思います。